

音楽会アンケートより

先日の音楽会には、非常にたくさんの皆様のご鑑賞に来校されました。本当にありがとうございます。その後、アンケートを採らせていただきましたが、その内容を少し紹介します。

演奏や歌について、なかには専門的な視点からの厳しいご意見もありましたが、全体としては、非常にうれしい評価をたくさんの方からいただきました。

レベルが高い。涙があふれてきた。きれいな声。全部の音がひとつにまとまっていた。

感動した。迫力がある。子どもたちの成長を実感した。練習の成果がよく出ていた。

リズム、速さ、音程…決して完璧ではなかったかもしれませんが、子どもたちのひとりひとりが、自分なりに一生懸命練習してきたものを出し切ってくれたかなと思います。

「我が子をたくさんほめてやることができました。」

アンケートのなかで、私はこの一文がとても印象に残りました。やってよかったなあと思いました。

うれしいようにつらいようなご意見もありました。それは、「毎年、やってほしい。」というものでした。とてもうれしいのですが、お気持ちもよくわかるのですが、他教科の授業時数確保のことなどを考えると難しいと思います。2年間待っていただいて、本当に「待ちに待った」音楽会を楽しんでいただけたらと思います。

また、体育館が狭いため、ご鑑賞に多大なご不便、ご不自由をおかけしましたこととお詫び申し上げます。特に、敬老席、お体の不自由な方の席については、再検討をしなければならないと考えています。

来校された皆様のマナーについてもたくさんのご意見が寄せられました。

小さい子どもが騒いでいるが、親はほったらかしである。子どもに手を振っている。

子どもにゲームをさせている。後から来て前に割り込む。

なかには、「私も『人の振り見て我が振り直せ』だと思いました。」と書かれている方もいらっしゃいました。学校がいつも何かを規制するのではなく、すべての保護者の皆様や地域の皆様がマナーというものについてお考えいただけましたら幸いに思います。

あ〜っ！ あ〜あ！ あ〜あ〜！

4年生を対象にした木工教室を行いました。大阪木材仲買協働組合さんのご厚意で材木の準備から指導まで行っていただき、「椅子づくり」に挑戦しました。

図工室に入ると木の香りが漂ってきて、それだけでなんだかホッとしました。やっぱり木はいいなあと思いました。なんて思っているうちに、トントン！カンカン！と始まりました。

「あ〜っ、あぶない！！」「そんなとこ、持つんとちゃう！」などと心の中で思いながらハラハラドキドキで見っていました。

ぐるぐる図工室のなかを回ってみると、あ〜あ〜、血豆をつくっている子どもがいました。あ〜、釘が斜めになって横からはみ出している子どもがいました。あ〜あ、釘抜きを上につまみ引いて曲がった釘を抜こうとしている子どもがいました。何度も首をひねっている子どもがいました。でも、みんな夢中です。一言もしゃべらず、一生懸命に釘を打っていました。